

週刊 循環経済新聞

The Recycling Economy Times

エムダイヤ 小型家電リサイクルが追い風

破碎分離機の販売好調

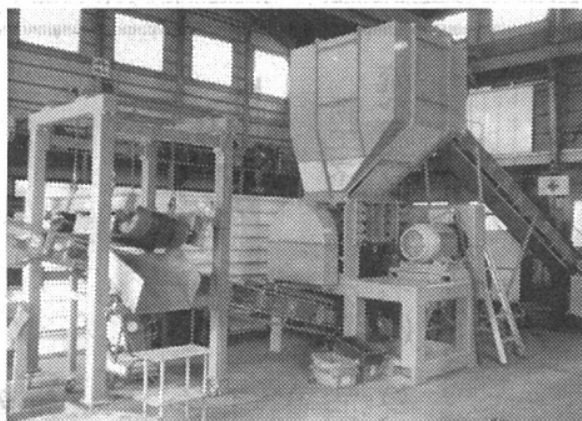
小型家電リサイクルの活発化を受けて、エムダイヤ(富山県滑川市、森弘吉社長、☎076・476・0062)が開発した破碎分離機「エコセパレ®」の導入が伸びている。破碎

所や中間処理施設で金属品位を高める前処理のため、利用されているという。これまで小型家電のリサイクル向けに5台納入した。

「エコセパレ®」の導入が伸びている。破碎刃を基板などの表面に滑らせて金属部分を削ぎ取る設備で、高い精度で樹脂と金属に分離できる。非鉄金属製錬

998年に廃タイヤをゴムとワイヤに分離する目的で開発した。1台でチョップ、ハンマー、引き裂き、せん断などの処理が可能で汎

電子基板を破碎分離して、金属品位を上げる



粗破碎した電子基板を同機で処理し、スクリーンを通すと、アルミと板金を基板からほぼ100%分離できるといふ。

基板類の処理能力は、1時間当たり0・2〜0・4ト程度の小型のものから3〜5トの製品まで4機種をラインアップしている。販売価格は1200万円(税別)から。用性が高い。光ファイバーケーブルを樹脂・光ファイバートと鉄芯に分けることもできる。

工場系・使用済み製品・金属類